

「灰」の放射能 **ベクレル** 測ってみよう

無料測定

期間:2018年1~5月31日



灰



我が家の灰 何ベクレル? 焼き芋・ねぎ焼、たき火の灰は?
ともかく測って、知って、考えよう!

福島第一原発事故から7回目の冬。薪ストーブ等の燃焼灰からは、まだ高濃度の放射能が検出される場合もあります。埼玉県内の燃焼灰の放射線濃度を測定し、2018年現在の状況を把握するとともに、「灰」をご提供いただいた皆さまには、その扱いについて考える資料としていただきたいと思います。

◆畑にまいてもいいかな?

灰は昔から家庭菜園や畑の肥料として活用されてきました。ところが、福島第一原発事故以降、農水省は肥料・土壌改良資材・培土中に含まれる放射性セシウムの暫定許容値を400ベクレル/kgとしました。しかし、埼玉県内の農地・家庭菜園の土壌の放射能濃度は、60ベクレル/kg前後です。



◆わらびのあく抜きに使える?

灰はわらびなどのあく抜きにも活躍します。市場を通して流通する野菜から放射能が検出されることはほとんどなくなりましたが、わらびをはじめとする山菜・野生きのこは、いまだに東日本の多くの県で出荷が制限されています。山菜のあく抜きに東日本産材の灰を使うのは、2重の意味で問題があります。



▲食器洗いなら使えるかな?

灰や灰汁はアルカリ性洗剤として食器洗いにも使用できます。また、バーベキューで出た灰は、油汚れを落とす洗剤として利用できます。しかし、食器にせよ、調理具にせよ、食べ物と直接接触するものです。できるだけ放射能に汚染されていない灰を使いたいものです。



共同プロジェクト

ホームページ

<https://hihakarujimdo.com/>



森の測定室・滑川
HSF市民測定所・深谷
私達の未来測定所・秩父おがの